



Broaden your horizons⑫ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは! メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。さて、8月7日は淀川で花火大会がありました。今年、私は若手経営者15人を率いて、ボランティアで参加しました。本部裏には救急車、消防車が控えていて、こんなにたくさんの人が後ろで支えてくれているんだと心強く思いました。

15時~19時まで、花火を見に来た人たちにうちわを配りました。「ありがとう」と言って受け取ってくれると、とてもうれしかったです。素通りされるのが一番つらかったです。これからは道端でモノを配っている人に、「お疲れ様」とか、「ありがとう」とか、きちんと声をかけようと思いました。また、淀川の河川敷でやりますので、「川で誰か溺れていないか、見回ってください。もし溺れている人や川に入ろうとしている人には手を出さず、教えてください」と言われて、え??? むしろ川に誰か入っていたらどうしたらよいのですか? 声をあげるだけなんですか? と非常に不安に思いながら、誰も川にいませんように、と祈りながら見回りをしていました。ウエットスーツを着た救護の人たちも控えていました。

すると、ドーン! 花火がスタートしました。立ちっぱなしで足が疲れ切っていました。川岸のむしろ絶好の場所で、迫力ある花火を見上げて見ることができました。王道の花火だけではなく、ハート型やイカ型、ドラえもん花火もありましたよ。1時間にわたり、歓声を上げながら、花火を見ていました。終了後、河川敷は戦場でした。淀川の花火は55万人の人出でしたが、みんなが帰った後のゴミはすごいものでした。缶、ペットボトル、食べ物の入れ物、タバコの吸いがらはもとより、クーラーボックス、傘、椅子とありとあらゆるものがありました。みんな、捨てて行ったゴミはどうにかなると思っているのでしょうか? ここがシンガポールだったら、みんな逮捕ですよ。(笑) 23時までゴミ拾いをし、翌日も朝7時30分~10時までゴミ拾いをしました。フラフラになりましたが、よい体験をしました。

ゴミは自然と土に帰るようにはできないのでしょうか。桑田真澄投手が、試合でよい結果を生むために、1日3個必ずゴミを拾うと言っていました。私もそうです。自分の夢を実現させるために、1日3個ゴミを拾いませんか?

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子